

# 令和6年度福島県入札制度等監視委員会の意見聴取について

聴取団体：福島県建設専門工事業団体連合会

それぞれの質問について枠内にお答えください。なお、特にことわりがないものは貴連合会としての内容をお答えください。

## 第1 入札・契約制度に関する課題

### 1 入札・契約制度全般について

県の入札・契約制度全般について、日頃感じていることや課題と捉えていることについて伺います。

私たちは直接入札する立場、というわけではありません。それ故、現状の入札や契約制度全般に対して直接的に影響を受けることは少なく課題としての優先順位も高くはありません。とは言え、入札・契約制度自体が私たちに全く無関係であると思っているわけでもありません。

ここで言う入札制度が公共と言う立場で行われる物と限定して言うならば、私たちはもっと公然と公共の益となる為に行っていると言う誇りと自信を持って当たって欲しいと考えます。今の時代は自信なげにしている者はその行為がどんなに正しくて先見性があったとしても社会に従わない者として当然のように責められる世の中であることを認識したうえで、自らの行為に自信を持って胸を張っていただきたいと思います。

## 第2 建設業界を取り巻く社会情勢や課題について

### 1 働き方改革の取り組み状況等について

長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現に向けどのように取り組んでいるか伺います。

週休2日制の導入や時間外労働の縮小などについて各社努力をしていますが、法令に順守したからと言って企業としての収益が守られるわけではなく、法令に違反したからと言って重大な枷となる罰則が与えられるわけではない現状においては、非常に苦勞しながら日々の業務に当たっているところです。

多様で柔軟な働き方の実現についても、仕事を受けると言う点において下層に位置する我々にとっては、上層での多様で柔軟な働き方の実現によって発生した不具合を一方的に受ける立場となっており、自らの内部で発生する不具合や押し付けられた不具合がより下層への負担にならないように鋭意努力をしていますが、徐々に業績を圧迫してきているのが現状です。

## 2 技術者の高齢化や労働者不足について

今後、技術者の高齢化や労働者不足が見込まれる中、技術者や労働者の確保についてどのように取り組まれているか伺います。

新規採用に留まらず中途の採用者も求めています。必要な労働者、特に技術者については確保できない状態が続いています。週休2日制や給与の増額などを提示することで一時的な応募を確保することはできますが、費用対効果の面で言えば新規採用者のパフォーマンスは不十分であり、また、既存の従業員との格差を生み出してしまう事による既存の従業員の離職と言う問題にも直面しています。

長い期間をかけて技術者・技巧者としての地位を築き上げてきた建設業にあって、従前からの学なし技術なしの無能者が就く最底辺の業務と言う暗黙で無意識に近い考え方が建設業の内外を問わず蔓延しており、頭数さえ揃えれば何とかかなると言う場当たり的な意識が払拭されないと状況はなかなか好転しないと感じています。

## 3 元請け・下請け契約の課題について

法定福利費の計上、適正な工期の確保、適切な変更契約等において、元請けと下請けの契約に関しての課題等について伺います。

建設業はコロナ明けの経済動向に追従することに失敗し適正な値上げを行うことができませんでした。一方で公共による建設事業投資は悪であると言う社会の鶏小屋的発想は代替の存在を準備することが叶わず今に至っています。管理・材料・工費の圧縮は限度を超えた一方で、人材確保のための下請けを犠牲とした元請の企業ブランド化が進行し、格差は開くばかりです。

当組合としては全体的には大きなトラブルなく元下関係を維持していることになっていますが、現実的には不当な指値や値引き圧力、支払いの減額や遅延と言った問題が散見されつつあります。

従前、下請に何かあった時に面倒を見てくれるのが元請でありましたが、その関係性は崩れてしまっていると言って過言ではないでしょう。